



移動ニュースポーツ教室

6月は小学校の親子行事としてニュースポーツの依頼が多く、ボールを使った競技を実施しました。キンボールは親子で楽しめる競技にアレンジして行い、親子で息を合わせたり、対戦したり、暑さに負けない子供達の声が会場に響きました。また、大船渡中央公民館からの依頼で、赤崎町蛸ノ浦の福寿大学で卓球バレーを実施しました。初めて体験する方やルールの再確認をしたい方など、和気あいあいとした中にも激しいラリーが続く対戦が見られました。



社会福祉施設等に従事する方を対象に「面接技術」に関する研修を開催しました。

社会福祉法人大洋会就労継続支援B型事業所星雲工房長の吉田展泰氏を講師に迎え『面接技術〜信頼関係を築く基本技術・傾聴技術〜』をテーマに講習していただきました。

面接技術の基礎から始まり、傾聴技術として「聴き上手・語りせ上手のテクニック」について学びました。聴く側がコミュニケーションを取るうえで心掛けることや、演習として、聴き役と話し役の立場でロールプレイを行い、参加者は教わったテクニックをお互いに意識しながら取り組まれていました。終わりに、傾聴は相手の感情を整理

社会福祉従事者等専門研修会

することが一番の目的であり、すぐに身につくものではなく、業務や日常生活の中で意識しながら実践を重ねていくことで技術が自分のものとして磨かれていくと述べられました。

「聴き手の姿勢や態度によって、話しやすい環境作りができるのだと知った」「相づちの大切さを改めて実感した」「自分の中にある感情を汲み取ってもらえることで心の整理ができたように感じた」など、今後の業務に活かしたい、より良いサービスにつなげたいとの声の間かれ、大変有意義な研修となりました。



キャップ・ハンディ体験

一関市社会福祉協議会藤沢支部内の民生児童委員の方々30名が、当センターで車いすのキャップ・ハンディ体験をしました。車いすで生活されている方の状況、車いすの開閉や操作の説明を受け、自走体験では左右の曲がり方、介助体験では交互にスロープや段差の昇り降りの方法などを体験しました。



終了後「不便さや、今までわからなかった事が体験によって理解出来た」「段差のない環境が必要と感じた」「これから起こりうることなので良い経験になった」などの感想をいただきました。

大会は終始和やかな雰囲気の中で進み、試合中は多くの好プレーに拍手が沸きました。また、今回が初参加となる「ふじの実学園」に優しく手助けをする参加者の姿も見られ、ボッチャを通して楽しく交流が図られました。

ふれあいボッチャ大会



ふじの実学園の皆さん



優勝◆なでしこ チーム

6月に第21回ふれあいボッチャ大会を開催しました。年に一回障がいのある方を対象に行っている大会で、今回は21回目を迎える歴史ある大会です。本年度は健常者との混合チームで募集し、遠方からは一関市の「ふじの実学園」が参加されました。

岩手県ポッチャ大会

令和5年度も、月1回恒例の岩手県ポッチャ大会を開催しております。

今年度は既に4回開催しておりますが、新たに参加するチームも少しずつ増えつつあります。対戦中は、楽しみながらも一投ごとに一喜一憂する姿や真剣な眼差しでプレーされ、決勝トーナメントでは予選敗退チームも見守る中、最後まで接戦を繰り広げています。尚、8月は熱中症対策の為、大会はお休みさせていただきます。



7月の優勝を飾った「ツバメ」チーム

美術ボランティア ～作品紹介～

「くびふりベーゴ」 鈴木様 大條様
佐々木様



「野菜の盛りかご」
花この会 杉沢様

料金改定のお知らせ

令和5年4月1日より、利用料金が改定となっております。当センターご利用の際は、ホームページに記載しております料金表をご確認ください。

ほっぷ・すてっぷ・ソング

7月のほっぷ・すてっぷ・ソングは、七夕・星・海など涼を感じられるものを中心に選曲し、七夕に食べると縁起の良い食べ物や願い事ランキングなどの話を交えながら12曲を歌っていきました。始まる時間までは参加者同士が近況報告や楽しいおしゃべりをしながら待ち親交を深め、会が始まると大きな歌声をホールいっぱいに響かせ、時には笑顔になりながら毎回和やかな雰囲気なかで行っています。「大きな声で歌うことで気分転換になる」「若返り」「若さをもたらいに来ている」「お気に入りの方が流れると嬉しい」など参加者から感想を頂いております。



「大きな声で歌うことで気分転換になる」「若返り」「若さをもたらいに来ている」「お気に入りの方が流れると嬉しい」など参加者から感想を頂いております。



気仙シニア大学

前年度に引き続き、気仙歴史文化研究会の会長、甘竹勝郎氏を講師に迎え「気仙の歴史」と題し、講義を行いました。中世・室町時代から近世・安土桃山時代までの中央政府と気仙の動きを分かりやすく解説していただき、受講生からは次回も聴講したいとの声が多く寄せられました。

課外学習では、気仙・三陸ジオパーク推進会議の代表、船山良忠氏のガイドのもと、日頃市町にある気仙四大金山の一つである坂本沢金山巡りと精錬所の跡地を見学しました。「市内に精錬所があったということ自体知らず知識が広がった」「先人が手で掘り進めた跡がしっかりと残っていて大変な思いが伝わってきた」など、かつて金山開発に多くの人が携わり、栄えていた時代に想いを馳せていました。



創作活動

七夕まつりのイベントで、きつぴんきつぷ様より依頼を受け、吉浜地区拠点センターを会場にバルーンアートを実施しました。

準備していた「ライオン」「星」「アンパンマン」を子供たちにプレゼントし、希望者には、「いぬ」「ライオン」の作り方を指導し、風船をひねったり、結んだり、パーツの確認をしながら作品を作りあげました。「風船がわれそうで怖かった」「初めてだったが大丈夫にできた」「うまくできた」などの感想を頂き、楽しい時間を過ごしました。

